

「ブックスタート事業」のご案内

～ 赤ちゃん絵本をプレゼント ～

いすみ市では、赤ちゃんとお家の方に楽しくいっぱいふれあってもらうために、市内に生まれ育つ赤ちゃんに絵本をプレゼントする『ブックスタート事業』を行っております。令和2年12月生まれの赤ちゃんからプレゼント方法が変わりました。

市内の4カ月の赤ちゃんに郵送でご案内します。赤ちゃんお一人につき絵本を2冊差し上げますので、1歳のお誕生日頃までに 母子手帳と案内状をお持ちの上、市内公民館へお越しください。（赤ちゃんが一緒になくても大丈夫です。）

ブックスタートってなに？

1992年にイギリスではじまり、すべての赤ちゃんのまわりで、楽しくあたたかい絵本のひとときがもたれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに絵本を手渡す活動です。

日本では市町村の事業として全国に広がっています。

ブックスタートの願い

～語りかける「愛情」で、赤ちゃんの幸せを広げたい。～

一人ひとりが、大切にかけがえのない存在である赤ちゃん。すべての赤ちゃんが、生まれた時から大きな愛情に包まれて、幸せを感じながら生きることができたら、こんなに素晴らしいことはありません。

親をはじめたくさんの人が赤ちゃんと一緒に時間を過ごし、愛情に満ちた「ことば」を語りかけることで、赤ちゃんは、自分が大切にされ、愛されていることを知り、喜びを感じます。

赤ちゃんの幸せは、そんな時間の中で芽生え、広がり、育まれていくものです。それは大人にとっても、心安らぐ子育ての時間になります。絵本は、このような時を、ごく自然につくりだすことができます。

「絵本をひらくことで、誰もが楽しく、赤ちゃんとのゆっくりこころふれあうひとときがもてるように」

ブックスタートは、抱っこのあたたかさの中で、赤ちゃんに語りかける「愛情ことば」によって、赤ちゃんとの成長に関わる人が、お互いに心を通い合わせ、幸せが感じられるきっかけをつくっていきたいと考えています。

NPOブックスタート Bookstart Japan より

絵本がお手元に届いて、市内に生まれ育つ赤ちゃんの健やかな成長にとって素敵なプレゼントとなることを心より願っております。

いすみ市